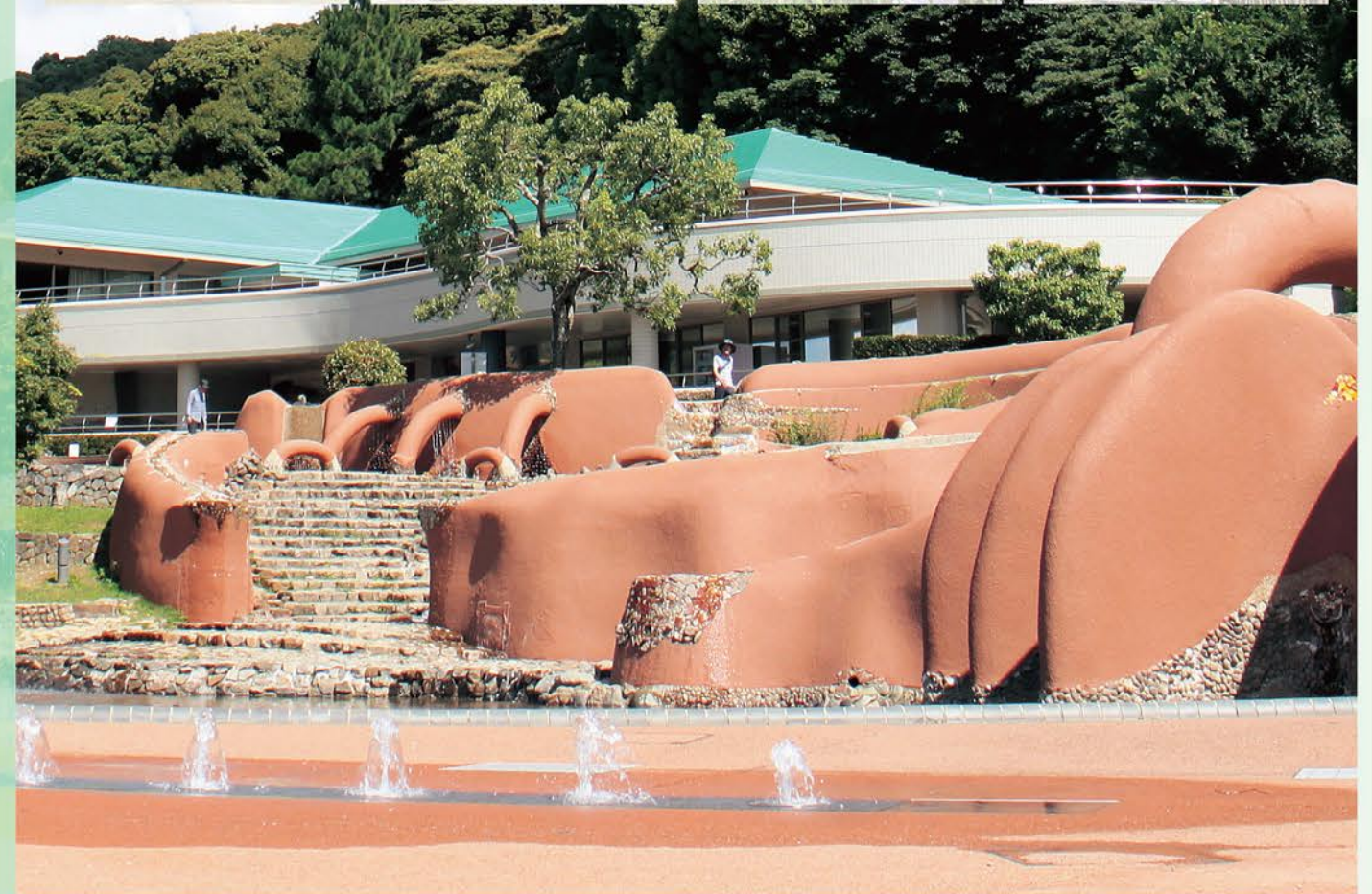
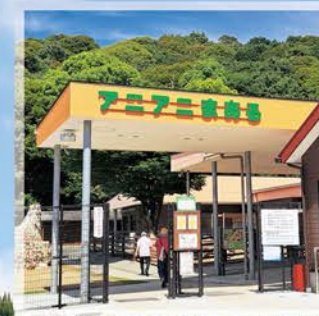


豊川市赤塚山公園
開園3周年記念誌

1993 》 2023
平成5年7月 》 令和5年4月

30th

ANNIVERSARY



もっと、ずっと、豊川。
80th
Anniversary
豊川市制施行80周年

豊川市赤塚山公園

開園 30周年記念誌

1993 》 2023
平成5年7月 》 令和5年4月

30th

ANNIVERSARY



Contents

目次

	ご挨拶	04
	祝辞	06
I	施設案内	07
	赤塚山公園全体案内	
	ぎょぎょランド館内案内図	
	アニアニまある案内図	
	おもな施設	
II	開園30周年記念イベント	17
III	30年の歩み	25
	1993(平成5)年～2012(平成24)年	
	2013(平成25)年～2023(令和5)年	
IV	飼育生物リスト	39
	ぎょぎょランド展示生物一覧(令和5年4月1日現在)	
	アニアニまある飼育生物一覧(令和5年4月1日現在)	
V	資料編	49
	組織・統計	
	寄贈物一覧	
	市民によるボランティア活動	
	編集後記	56



ご挨拶

赤塚山公園 開園30周年を迎えて

豊川市長 **竹本 幸夫**



赤塚山公園は、平成5年7月24日に豊川市制施行50周年記念事業として開園した公園でございます。今年は市制施行80周年にあたるので、この公園が今年の夏に、めでたく30周年を迎える年でもございます。

赤塚山公園が計画された当時には、本市は総合公園を有しておらず、市民の皆様の充実した余暇活動や憩いの場として、新たな公園を確保するため、赤塚山公園は、「市民の里山」として整備されました。

平成5年の開園当時は、「ぎょぎょランド」、「水の広場」、「市民のスクエア」、「花見広場」を合わせました4.3ヘクタールの公園でございました。その後、「アニアニマある」や「花しょうぶ園」、「梅園」がございます中池エリア、「昆虫の森」などがございます宮池エリアなど、順次、拡張整備を進め、平成16年3月31日の東池エリアと「市田の森散策路」のオープンをもちまして、面積25.1ヘクタールの現在の形の公園となりました。

自然に親しみながら過ごせ、高齢者から親子、そして孫世代までの三世代交流の場となっており、年間40万人もの来園者がある、市内では豊川稲荷に次ぐ観光資源とし

て、多くの皆様に利用されています。

さらに、第6次豊川市総合計画におけるまちづくり基本方針で、一層の定住・交流施策及びシティーセールスを推進していく施設として位置付け、公園の魅力をもっと高めていく必要があるため、令和元年度に赤塚山公園再生基本計画を策定、翌年の令和2年度より再整備に着手し、令和5年4月にリニューアルオープンすることができました。

これもひとえに、地元を始めとする関係者の皆様のご理解とご協力、そして、この赤塚山公園を日頃からご利用くださっている多くの皆様のお陰であると、心より感謝を申し上げます。

皆様に愛していただける公園であり続けますよう、管理運営をまいりますので、今後とも変わらぬ、さらには、これまで以上のご愛顧をお願い申し上げます。

ご挨拶

赤塚山公園開園後30年を 振り返って

豊川市施設管理協会
理事長 **田中 義章**



平成5年7月に豊川市制施行50周年記念事業の一つとしてオープンした赤塚山公園が、開園30周年を迎えました。

これもひとえに、ご来園の皆様や地元市田町を始め市民の方々、ボランティアの方々、そして、各方面の関係者の方々など、多くの皆様のご協力のお陰と深く感謝申し上げます。

開園当時の淡水魚水族館「ぎょぎょランド」立ち上げの際には、職員が豊川の生き物や環境の情報の収集に出向くなど、生き物調査や水質検査を行う「とよがわ調査」を10年ほど実施しました。

そうした中、赤塚山公園で得た情報や知識を発信するために、平成13年には赤塚山公園セミナーを開催し、豊川の生き物や展示動物、公園の自然環境などを伝えてまいりました。

平成18年には赤塚山公園の情報を発信する機関誌「あかつかやま」を創刊、昨年10月には記念すべき第100号を発行することができました。

また、平成25年からは教育普及活動を拡充するため、豊川市教育委員会のご協力のもとに「学習プログラム」を立ち上げ、市

内の小中学校と連携し、川の生き物調査や学校での動物飼育のお話などを行っております。

更に、豊川^{とよがわ}の環境保全対策の一環として平成18年から飼育を開始した国の天然記念物「ネコギギ」は、平成30年からは繁殖を試み、5年連続で成功しています。これまでの飼育・研究の成果であると思っております。

なお、ぎょぎょランドの入館者数は現在、累計で1,200万人を超えています。

その他、「アニアニマある」、「水の広場」、「花しょうぶ園」、「梅園」、「市民のスクエア」など多くの人気エリアにおいて、幅広い年齢層の非常に多くの皆様に楽しんでいただいていることを大変ありがたく思っております。

今回、赤塚山公園は開園30周年を迎え、「水の広場」、「あかつかテラス」、「もふもふ広場」のリニューアルや大型遊具の新設などを行い、新しく生まれ変わりました。職員一同気持ちを新たに、益々多くの方々から親しまれ愛される公園を目指しますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

祝 辞

豊川市議会議員 早川 喬俊



豊川市赤塚山公園が開園30周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

豊川市制50周年記念事業として建設された赤塚山公園は、平成5年7月24日に開園以来、県内外から多くの方々が来園し、子どもから大人まで幅広い世代の皆様へ憩いと学びの場として親しまれてきました。節目の30周年を迎え、これまでご来園いただいた皆様をはじめ、生き物の飼育や、施設の維持・整備にあたってこられた職員並びにご支援・ご協力をいただきました関係の方々に、心より感謝を申し上げます。

さて、赤塚山公園は、自然の豊かさを生かした美しい環境の中、生き物や自然を楽しむだけでなく、スポーツができる施設を有する総合公園となります。また、豊川水系に棲む生き物を展示している東三河唯一の淡水魚水族館である「ぎょぎょランド」やポニーやウサギなどの動物と触れ合うことができる「アニアニまある」では、子どもたちの健やかな感性を育み、好奇心を高める場を提供するとともに、絶滅危惧種で国の天然記念物に指定されている「ネコギギ」の繁殖や保全などにも取り組んでおります。このように、人々の集いの場である

とともに自然保護の必要性を感じることができる、本市にはなくてはならない施設となっています。

開園30周年の節目である今年4月のリニューアルオープンでは、水の広場の再整備や大型遊具の設置、Park-PFIを活用した飲食物販施設と休養施設の設置等を行い、公園の活性化が図られました。また、施設には「びよんびよん噴水」や「あかつかテラス」など身近で親しみやすい名称が加わりました。今後、さらに魅力ある展示や様々なイベントを開催していくことで、今まで以上に多くの人を惹きつける素晴らしい施設になっていくことと存じます。

私ども市議会といたしましても、今後も赤塚山公園が市民の皆様にとって貴重な場所であり続けるため、更なる魅力と利便性の向上のため、全力で取り組んでまいります。

結びに、赤塚山公園がこれからも人が集い、魅力溢れる場所として皆様へ愛されることを願いますとともに、今後の更なるご発展を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

施設案内

I

- 赤塚山公園全体案内
- ぎょぎょランド館内案内図
- アニアニまある案内図
- おもな施設

施設案内

赤塚山公園全体案内図

akatsukayama park MAP 赤塚山公園



豊川市赤塚山公園

- 所在地 愛知県豊川市市田町東堤上1番地30
- 敷地面積 25.1ha 標高 30.9m
- 駐車場 469台(無料)
- 休園日 毎週火曜日、年末年始
休日の代休(不定休)
臨時休業日(不定休)
- 入園料 無料

施設案内

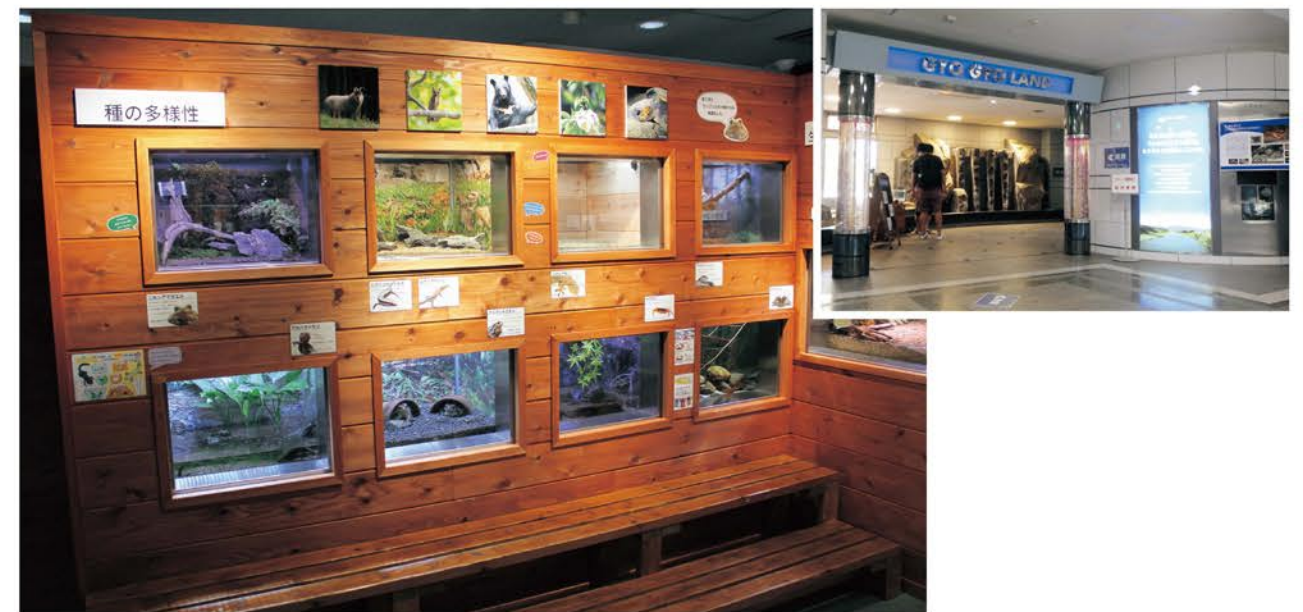
施設案内



ぎょぎょランド(淡水魚水族館)

平成5年7月24日オープン

- リニューアル** 平成30年12月22日 (アควアギャラリーII)
- 構造** 鉄筋コンクリート2階建
- 延床面積** 1,610㎡ (1階1,035㎡、2階575㎡)
- 展示状況** (令和5年4月1日現在)
 - 東三河の魚類、両生類、爬虫類など 40水槽 76種 2,036匹
 - その他の生物 3水槽 14種 204匹



市民のスクエア(多目的広場)

平成5年7月24日オープン

- リニューアル** 平成29年4月1日 (人工芝)
- グラウンド面積** 10,350㎡
- 照明設備** 照明塔6基 (200ルクス)
- 付属設備** 野外ステージ
更衣棟
トイレ
有料施設



水の広場(流水広場) ▶ 平成5年7月24日オープン

リニューアル 平成25年4月1日/令和5年4月1日

施設 ぴょんぴょん噴水
ライン噴水
木の根休憩所

広場面積 4,000㎡

遊水池面積 300㎡



花見広場 ▶ 平成5年7月24日オープン

面積 4,000㎡
桜(品種:ソメイヨシノ)31本

その他 花見広場以外の園内にヒマラヤザクラ(12月開花)や薄墨桜(ウスズミザクラ)、シダレザクラを植栽
歴史の道南側斜面に市民から寄贈していただいた河津桜(カワヅザクラ)を26本植栽

施設 トイレ



歴史の道 ▶ 平成6年4月1日オープン

リニューアル 平成30年3月1日

面積 13,000㎡

施設 古墳、ミニチュア石室



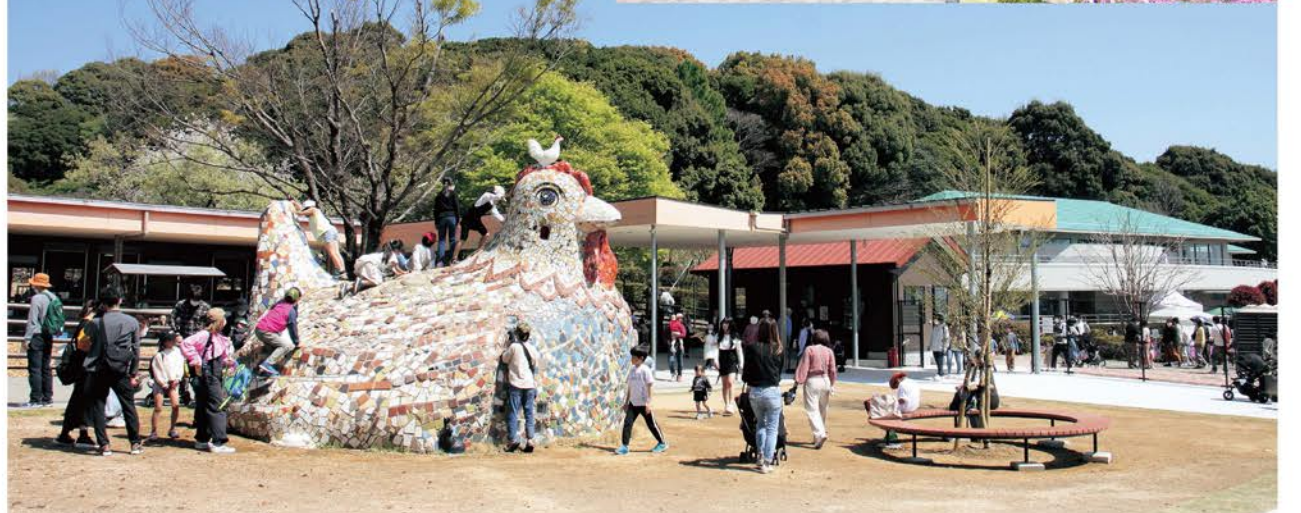
アニアニまある(小動物広場) ▶ 平成7年7月21日オープン

リニューアル 平成26年4月19日/令和5年4月1日

広場面積 5,000㎡

展示状況 哺乳類:6種 54頭、鳥類:1種 2羽
(令和5年4月1日現在)

施設 動物飼育棟、さんさん広場、もふもふ広場、すくすくファーム、トイレ



花しょうぶ園 ▶ 平成9年4月1日オープン

- 面積 2,350㎡
- 植栽数 約5,000株(令和5年4月1日現在)
- 花しょうぶまつり 6月頃



赤塚山散策路 ▶ 平成10年4月1日オープン

- 面積 19,000㎡
- 散策路総延長 650m
- 赤塚山標高 80m



弘法山エリア ▶ 東側:平成13年4月1日オープン ▶ 西側:平成14年4月1日オープン

- 面積 62,000㎡
- 散策路総延長 1,680m
- 施設 展望楼、風の散歩道、かべやふようさんのアート平板
- 片瀬山標高 92.4m



梅園 ▶ 平成9年4月1日オープン

- 面積 4,900㎡
- 植栽数 25品種 273本(令和5年4月1日現在)
- 梅まつり 2月~3月
- 施設 トイレ



宮池エリア(わくわくパーク) ▶ 平成15年7月5日オープン

- 面積 34,000㎡
- 施設 大型遊具(令和5年4月1日)
昆虫の遊具(カブトムシなど)
蝶の遊具(令和2年3月17日更新)
ロングすべり台(全長41m・幅50cm)
ワイドすべり台(全長6m・幅2m)
管理棟、展望デッキ、トイレ



市田の森エリア ▶ 平成16年3月31日オープン

- 面積 23,000㎡
- 散策路総延長 290m
- 御山標高 72.3m



東池エリア ▶ 平成16年3月31日オープン

- 面積 25,000㎡
- 散策路総延長 676m
- その他 路に市民から寄贈していただいたシダレザクラを17本植栽

あかつかテラス ▶ 令和5年4月1日オープン

- 面積 359㎡
- 施設 公募対象公園施設 愛称:グッドタイムプレイス
produced by イトコー
特定公園施設 通称:休養施設



開園30周年 記念イベント

II



開園30周年記念イベント

赤塚山公園リニューアルオープンイベント

2023年4月1日 10:00-21:00

昼の部 地域の魅力をつなげる RENEWAL OPEN EVENT

「昼の部」イベントスケジュール

- 10:00-10:40 記念式典(水の広場)
- 10:30-11:30 “HIKARU”音楽ショー(市民のスクエア・ステージ)
- 13:30-14:30 “OKUDAIRA BASE”奥平眞司さんトークショー(市民のスクエア・ステージ)
- 15:00 イベント終了

記念式典



竹本幸夫市長のあいさつ



司会の藤田さん
元NHKキャスター藤田真梨子さんによる
総合司会が、イベントに色を添えました。



「赤塚山公園のいいとこどり写真展」で大賞を受賞した近藤真知子さん



いいとこどり写真展 大賞「貸し切り菖蒲園」



PPGジャパン株式会社様を中心に市民のボランティアの方に市民のスクエアの壁に動物の絵をかいていただきました。



PPGジャパン株式会社 代表取締役社長 久保隆様から「カラフルコミュニティ」のプレートを寄贈していただきました。



水の広場の前で記念撮影



テープカットをして、噴水のお披露目



赤塚山公園リニューアルオープン記念植樹
豊川中ライオンズクラブ様より十月桜[ジュウガツザクラ]
を寄贈していただきました。



屋根付きの休憩施設、飲食物販店があかつかテラス(ぎょぎょランド前の広場)にオープンしました。
施設のリニューアル、官民連携、地域連携をテーマとしてイベントを開催しました。



キッチンカーや飲食ブース、ワークショップなどが勢揃いしました。



人気シンガー“HIKARU”が、心地よいギターの色にのせ爽やかな歌声を披露。
人気ユーチューバー“OKUDAIRA BASE”奥平眞司さんによる、地元での初トークショー。



とよかわフラワープロジェクト。
豊川産のバラで作りました。



水の広場がリニューアル

びよんびよんと水が飛び出す
「びよんびよん噴水」
音楽に合わせて水が飛び出す
光る噴水の「ライン噴水」
最大4mの高さまで吹き出します。
ゆっくり休憩のできる
「木の根休憩所」もできました。



アニアニまあるもリニューアル

ウサギやモルモットが快適に過ごすことができる「小動物舎」
乗馬体験やウサギやモルモットのふれあいプログラムができる「もふもふ広場」



ウサギとモルモットを近くで見ることができるようになりました。



「もふもふ広場」ふれあいプログラム「モルモットを知ってみよう」を開催。
飼育員からモルモットの話聞いてモルモットをさわりました。



わくわくパークに大型遊具。子どもたちが大喜び。



ぎぎぎランドで展示している「アート平板」の原画。令和5年の限定展示。

豊川市出身の絵本作家かべやふようさんが描いた「アート平板」の設置。



風の散歩道に埋め込まれているアート平板。

こちらは、
豊川市出身の絵本作家・かべやふようさんの描いた原画です。
中央エリアと芸術エリアを結ぶ通路、緑に囲まれトンネルのようです。
緑豊かな木に立つお母さん。ずっと前から私達を見守ってくれているように、
子どもたちが、手を渡る度にいつしよに前へと進んでくれるのを待っているよう。
風の跡には足音を残してあり、私達の知らない遠く山に影が伸びていこう。
風は、私達の世界と風の世界を結ぶトンネルでもあるのです。
かべやふよう

80th
もっと、ずっと、豊川。
— 100周年記念事業 —

夜の部 赤塚山NIGHT PARK ~これからの公園の姿~

時間 ● 午後6時30分～午後9時

内容 ● 市民のスクエアでの音楽イベント、水の広場での噴水イルミネーション、展望台周辺のライトアップを行いました。
音楽イベントではダンスやビートボックスの他、DJ KOOさんが「日本屈指の盛り上げ番長」としてイベントを盛り上げました!
最後は、皆で願いを込めたLEDバルーンランタンを打ち上げました。



竹本市長とDJ KOOさんのトークショー
夜の部「NIGHT PARK」の開催です。



市民のスクエアでDJ KOOさんのコンサート。
大勢の方で盛り上がりました。

ライン噴水とぴよんぴよん噴水のライトアップ披露。
カラフルに彩られた4mまで吹き上がるライン噴水は、ダイナミックでした。
ぴよんぴよん噴水は、キレイな弧を描く噴水で、不思議な感じ
です。



展望楼もライトアップ

塗魂ペインターズ様にボランティアで塗装していただいた展望楼もライトアップされて、さらにきれいになりました。展望楼に向かう階段も灯籠をおいて明るくなりました。



「アニアニまある」も夜まで開園しました。アニアニまあるの周囲の木々も紫やブルーに彩られました。



30年の歩み

III

30年の歩み

1993 ●平成5年

7月24日 市制50周年記念事業 ゑぎぎランド、市民のスクエア、水の広場、花見広場オープン(4.3ha)

8月13日 ゑぎぎランド入館者10万人達成



1994 ●平成6年

4月1日 花しょうぶ園、梅園建設開始 歴史の道オープン(1.3ha)

4月6日 ゑぎぎランド入館者50万人達成

10月1日 記念ハガキNo.1発行



1995 ●平成7年

4~10月 とよがわ調査(第1回)開始

4月1日 「ぶるぐ、赤塚」創刊号発行

4月22日 動物広場の名称、展示動物ポニーとロバの愛称募集~5月21日動物広場の名称「アニアニまある」、展示動物ポニーの愛称「リック」展示動物ロバの愛称「ハッピー」に決定

5月4日 ゑぎぎランド入館者100万人達成

7月21日 記念ハガキNO.2発行、アニアニまあるオープン(1.3ha)



1996 ●平成8年

3月 とよがわ調査報告書(第1回)発行

3月15日 第1回人にやさしい街づくり賞受賞

4月1日 赤塚山散策路、弘法山エリア建設開始



1997 ●平成9年

2月1日 記念ハガキNO.3発行

3月9日 ゑぎぎランド入館者200万人達成

4月1日 中池エリア(花しょうぶ園、梅園)オープン(1.8ha)



1998 ●平成10年

4月1日 赤塚山散策路オープン(1.9ha)



1999 ●平成11年

3月 動物のトピアリー製作開始

6月6日 ゑぎぎランド入館者300万人達成



2001 ●平成13年

4月1日 弘法山エリア(一部東側)オープン(3.7ha)

宮池エリア建設開始

6月2日 第1回赤塚山公園セミナー開催 ゑぎぎランド名誉館長 安原健允

11月9日 ゑぎぎランド入館者400万人達成



2002 ●平成14年
4月1日

弘法山エリア(一部西側)オープン(2.5ha)
東池エリア散策路、市田の森エリア建設開始
第1回昆虫の会開催



2003 ●平成15年
7月5日

市制60周年記念事業 宮池エリア(昆虫の森)オープン(3.4ha)



2004 ●平成16年
3月31日
7月16日

東池エリア散策路、市田の森エリアオープン(4.9ha)
ぎよぎよランド入館者500万人達成

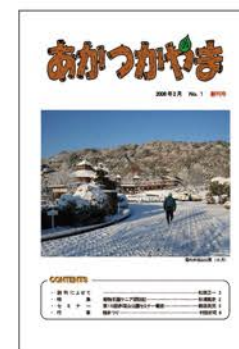


2005 ●平成17年
7月
12月

愛地球博の環境学習
「梅の木ボランティア」開始



2006 ●平成18年
2月15日



機関誌「あかつかやま」創刊号発行



2007 ●平成19年

4月1日 指定管理者制度
8月8日 ぎよぎよランド入館者600万人達成
11月19日 ネコギギを国土交通省から許可を受けて飼育開始



2008 ●平成20年

3月18日 ネコギギ展示開始
7月24日 ぎよぎよランド開館15周年



2009 ●平成21年

8月15日 ヤギの名前発表
762通の応募の中から「元気」に決定
3月24日 豊川市赤塚山公園 園報第1号「15年のあゆみ」発行



2010 ●平成22年

2月2日 ミニブタの名前募集(~17日)
2月19日 ミニブタ名前発表
792通の応募の中から「ミルク」と「ココア」に決定
5月22日 ぎよぎよランド入館者700万人達成
10月23日 COP10関連事業 豊川環境フェア



2011 ●平成23年

6月30日 豊川市赤塚山公園 園報第2号発行
8月19日・20日 夜の水族館を開催 参加者64人



2012 ●平成24年

5月20日 たけのご採り
7月23日 バックヤード見学
11月1日 水の広場リニューアル工事開始



2013 ●平成25年



- 3月30日 ●水の広場改修工事終了
- 4月1日 ●開園20周年記念「スタンプラリー」を開催 参加者623人(～平成26年3月31日)
- 6月9日 ●ぎよぎよランド入館者800万人達成
- 7月21日 ●開園20周年記念事業「あかつかやま公園夏まつり」を開催
●豊川市赤塚山公園 園報第3号「20年のあゆみ」を発行



- 9月24日 ●「アニアニまある」が改築工事のため休園(～平成26年4月18日)

2014 ●平成26年

- 4月19日 ●「アニアニまある」がリニューアルオープン
- 7月19日 ●ヤギの名前募集(「シロ」に決定) 応募数 278件(～21日)



2015 ●平成27年

- 3月1日 ●赤塚山公園 梅まつり「どウメ～祭り」を開催
●いなりんマンホール設置(豊川市下水管理課)
- 12日 ●自然観察会(緑化フェア・豊川市公園緑地課)9人
- 17日 ●全国都市緑化あいちフェア サテライト会場in赤塚山公園
●あかつかやま公園秋まつり(豊川市公園緑地課)
- 10月8日 ●ぎよぎよランド入館者900万人達成
- 10月 ●豊川市赤塚山公園 園報第4号発行



2016 ● 平成28年

- 4月1日 ● ヤギの名前募集(「ミミタ」に決定) 応募数 270件(～3日)
- 19日 ● 秋篠宮同妃両殿下が御来園
- 9月2日 ● ワクワク工房「光る魚のぬりえ」(～11日)
- 17日 ● 秋の“ぎよ長”の水族館(～19日)
- 12月18日 ● 「AELネット環境学習スタンプラリーをOS☆Uとモリゾー・キッコロが“推す推す”します! 第7弾」開催



2017 ● 平成29年

- 4月29日 ● 企画展「ぎよぎよランドの生き物とふれあおう」(～5月7日)
- 7月8日 ● ポニーのおたんじょうび会
- 9月24日 ● 安全安心まちづくり
- 11月12日 ● サンテパークたはら収穫祭 出張ぎよぎよランド「移動水族館・ザリガニのふれあい」
- 12月2日 ● 年末年始イベント「ワンダフルウィンター」(～1月8日)
- わくわく工房「幸せの天使の羽」



2018 ● 平成30年

- 3月4日 ● 市田町内会による雅楽の演奏
- 5月20日 ● ぎよぎよランド入館者1,000万人達成
- 第1回赤塚山公園自然観察会「バードウォッチング」
- 9月24日 ● 「もしも豊川にこんな道の駅があったなら」(豊川商工会議所)



2019 ● 令和元年(平成31年)

- 1月11日 ● しぜんとあそぼう開始
- 3月31日 ● 豊川市赤塚山公園 園報5号発行
- 7月16日 ● クラウドファンディング開始「赤塚山公園ポニーお友達プロジェクト」(豊川市企画政策課)～10月14日
- 9月4日 ● 特別展示「ネコギギの赤ちゃん」(～30日)
- 12月8日 ● 豊川公園イベント「こどものまち」に出展



2020 ● 令和2年

- 2月27日 ● 新型コロナウイルス感染症予防のため「ふれあい」及び「イベント」中止
- 3月3日 ● 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として「ぎよぎよランド」「アニアニまある」を臨時休館（～5月31日）
- 24日 ● ポニーが仲間入り
- 4月8日 ● 「アニアニまある」再開
- 12日 ● 新型コロナウイルス感染症に係る愛知県緊急事態宣言発出に伴い「水の広場」「アニアニまある」「市民のスクエア」臨時休止（～5月31日）
- 27日 ● ポニーの名前募集 応募数 183件（～5月11日）
- 16日 ● ポニーの名前発表「ミライ」
- 25日 ● 「アニアニまある」再開
- 6月1日 ● 「ぎよぎよランド」「水の広場」「市民のスクエア」再開
- 6日 ● 梅の収穫体験（7日・10日・11日）中止
- 16日 ● 第2駐車場改修工事（～1月22日）

イベント等中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、**令和2年3月11日（水）**まで一部のイベント及びふれあいを中止します。
ご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解いただきますようお願いいたします。

中止するイベント・ふれあい

イベント

- サンデバルク in ぎよぎよランド（3月8日）
- とよかわ農業市（3月8日）
- 梅まつり観光物産展（3月15日までの毎土・日曜日）

ふれあい

- ばくばくタイム（開催日（金曜日を除く）10:00～10:40）
- コイの工サヤリ（開催日（金曜日を除く）14:00～14:10）
- ポニーのふれあい（月曜日 13:30～14:00）
- ヤギの工サヤリ（開催日 11:00～11:10）
- モルモットのふれあい（水・土・日曜日・祝日 13:30～14:00）
- ワクワク工房（金曜日 9:00～16:00）
- しげんとあそぼう（土曜日 14:30～15:00）
- ぎよぎよトーク（日曜日 14:30～14:40）

※今後の状況により中止期間を延長する場合があります。

開催するイベント

- 梅まつり（3月15日まで）
- みんなの写真展（3月16日まで）



豊川市赤塚山公園 新しいポニーの名前決定！

ミライ に決定しました。

豊川市赤塚山公園アニアニまある 新入りポニーの名前募集！！

臨時休館のおしらせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、**令和2年3月3日（火）**から**3月17日（火）**まで「ぎよぎよランド」、「アニアニまある」を休館します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いいたします。

※ その後の状況により、休館期間を延長する場合があります。
※ その他の施設（市民のスクエア、梅園、芝生広場等）は利用可能です。公園自体を再開するものではありません。

（問合せ先）豊川市赤塚山公園 電話：0533-89-8891

臨時休館のおしらせ

緊急事態宣言が延長されたことに伴い、以下のとおり臨時休館を延長いたします。

施設	休館期間
ぎよぎよランド	令和2年3月3日（火）から5月31日（日）まで
水の広場	令和2年4月12日（日）から5月31日（日）まで
アニアニまある	令和2年4月12日（日）から5月31日（日）まで
市民のスクエア	令和2年4月12日（日）から5月31日（日）まで

ご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解いただきますようお願いいたします。



2021 ● 令和3年

- 2月14日 ● 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発出のため「ふれあい」中止（～3月7日）
- 3月29日 ● 新型コロナウイルス感染症予防のため、ふれあい中止およびアクアギャラリーII閉鎖（～5月11日）
- 5月4日 ● ぎよぎよランド入館者1,100万人達成
- 12日 ● 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出のため、ふれあい中止およびアクアギャラリーIIを閉鎖（～6月20日）
- 7月25日 ● 専門職員（飼育員）採用第1次試験
- 19日 ● ヤギ2頭仲間入り
- 8月27日 ● 緊急事態宣言発出のためアクアギャラリーIIを閉鎖（～9月30日）
- 30日 ● 専門職員（飼育員）採用第2次試験
- 9月1日 ● ヤギの名前募集 応募数 138件（～10日）
- 7日 ● 第1駐車場（一部利用可）、水の広場再生工事のため使用中止（～令和4年3月）
- 12日 ● ヤギの名前発表 Facebookライブ「ひかり&きらり」
- 27日 ● 専門職員（飼育員）採用第3次試験
- 12月10日 ● ヤギ1頭仲間入り
- 20日 ● ヤギの名前募集（～1月10日）154件



おしるしお楽しみしましたよ！

2頭のヤギさんの名前をつけてほしいメッセ

【募集期間】 2021年12月20日（月）～2022年1月10日（月）17時まで

【応募方法】 赤塚山公園ホームページまたは右のQRコードをスクリーンショットして応募してください

※ 名前には応募していた日から期間満了による期限となる変更をおこない、決定します。

【発表】 2022年1月16日（日）13時30分よりインスタグラムにてライブ配信します。その他ホームページ、フェイスブック、園内ポスターにてお知らせします。



姉妹のヤギさんの名前決めてほしいメッセ

2021年12月9日（水）～10日（木）

【募集期間】 2021年9月1日（水）～9月10日（金）17時まで

【応募方法】 赤塚山公園ホームページまたは右のQRコードをスクリーンショットして応募してください

【発表】 9月12日（日）15時30分よりフェイスブックでライブ配信します。その他赤塚山公園ホームページ、インスタグラム、園内ポスターにてお知らせします。（Facebookページ：赤塚山公園「オアシスランド」）

① A: はるか B: のぞみ
② A: ゆい B: つむぎ
③ A: ひかり B: きらり

豊川市赤塚山公園 飼育員採用試験

2022年（令和4年）4月14日（日）予定

第1次試験

2021年（令和3年）7月25日 9:15-12:30

会場：豊川市市民会館 大講堂ホール
 主催：豊川市（事務局）
 共催：ぎよぎよランド・アニアニまあるの動物管理課
 対象：平成5年4月2日以前に生まれた方（年齢・経験は問いません）
 人数：1人
 試験科目：常識問題・適性検査
 申し込み：7月5日（月）まで（郵送可）。申し込みと併せて、連絡または郵送で履歴書（〒442-0862 豊川市市民会館2階2号30号）へ、履歴書、申込書は郵送管理課（赤塚山公園内）に送ります。（赤塚山公園ホームページ http://www.akatsukayama.jp/ からダウンロード可）

豊川市赤塚山公園（ぎよぎよランド・アニアニまある）
 豊川市市民会館2階2号30号 電話 0533-89-8891
 事務局 〒442-0862 豊川市市民会館2階2号30号
 休館日 毎週日曜日・祝日 年中無休
 HP http://www.akatsukayama.jp/

2022 ● 令和4年

- 2月28日 ● 豊川市赤塚山公園 園報第6号発行
- 4月16日 ● ヤギの名前発表 インスタライブ「ひなた」
- 23日 ● アクアギャラリー I 改修工事のため閉鎖
- 30日 ● ポニー1頭仲間入り
- 7月1日 ● アニエマあるリニューアル工事のため休園
- 10日 ● ポニーの名前募集 応募数 150件(～31日)
- 11日 ● ポニーの名前発表インスタライブ「カケル」



2023 ● 令和5年

4月1日 ● リニューアルオープンイベント



2023 ● 令和5年

リニューアル施設

- ・「水の広場」 ライン噴水・ぴよんぴよん噴水 木の根休憩所
- ・「あかつかテラス」
公募対象公園施設(愛称:グッドタイムプレイスproduced By イトコー)
- ・アニアニまある「もふもふ広場」
- ・「わくわくパーク」に大型遊具
- ・風の散歩道にかべやふようさんのアート平板設置



飼育生物リスト

IV

- ぎよぎよランド展示生物一覧
(令和5年4月1日現在)
- アニアニまある飼育生物一覧
(令和5年4月1日現在)



飼育生物リスト

ぎょぎょランド展示生物一覧


(令和5年4月1日現在)

ふれあい池	外	コイ(ニシキゴイ含む)	
	内	アメリカザリガニ, コイ, キンギョ	
流れの水槽	淵	コイ, ゲンゴロウブナ, ソウギョ	
	肉食魚	ナマズ, ナイルティラピア, ニホンスッポン	
	カメ	ニホンイシガメ, クサガメ, ミシシippアカミミガメ	
	下流1	ニホンウナギ, ウグイ, ニゴイ	
	下流2	オイカワ, タモロコ, ギンブナ, オオキンブナ, カマツカ, タイリクバラタナゴ	
	中流	アユ, カワムツ, アブラハヤ, ボウズハゼ	
上流	アマゴ, ニッコウイワナ, ニジマス		
小川の流れ	1	ヤリタナゴ, カワヒガイ, トウカイコガタスジシマドジョウ	
	2	ネコギギ	
	3	ホトケドジョウ	
アクアギャラリーI	1	ニシシマドジョウ, イトモロコ	
	2	カワアナゴ	
	3	水槽水漏れのため展示中止	
	4	アブラボテ, ウツセミカジカ	
	5	カワバタモロコ, トウヨシノボリ	
	6	カワヨシノボリ, タカハヤ	
	7	ヌマムツ, スミウキゴリ	
アクアギャラリーII	1	ニホンアマガエル	
	2	ヒガシニホントカゲ, ニホンカナヘビ	
	3	ニホンヤモリ	
	4	タガメ	
	5	アカハライモリ	
	6	アズマヒキガエル	
	7	サワガニ	
	8	モクズガニ	
	9	トノサマガエル, ナゴヤダルマガエル	
	10	アカザ, ネバタゴガエル	
	11	モツゴ, ドジョウ, モリアオガエル, チリメンカワニナ, スジエビ	
	12	ヒメタイコウチ, コシマゲンゴロウ, ハイイロゲンゴロウ, ミズカマキリ, クロゲンゴロウ, コオイムシ	
	13	ボラ, マハゼ, ベンケイガニ, クロベンケイガニ	
	14	ウシガエル, アメリカザリガニ, スクミリンゴガイ, ホテイアオイ	
	15	オオクチバス, ブルーギル, オオカナダモ	

円型水槽	F1-1	レッドフィンバルブ, ポストフィッシュ, ドーキンシア・フィラメントーサ, シルバーシャーク
	F1-2	レッドテールキャット, ブラックコロソマ, レッドコロソマ, モトロ
	F2	ミナミメダカ, ミナミヌマエビ
置水槽		イオドロフェウス・スプレングリー コパディクロミス・ボルレイ シュードトロフェウス・ロンバルドイ スキアエノクロミス・フライエリイ ニンボクロミス・ベヌスタス ラビドクロミス・カエルレウス
バックヤード		イエローストライプシクリッド ガラ・ルファ コリドラス・アエネウス シノドンティスsp. シルバーアロワナ セイルフィンプレコ ダドニオプラスワン トランスルーセントグラスキャット ネオンテトラ ラベオトロフェウス・フエレボルニ

アニアニまある飼育生物一覧

(令和5年4月1日現在)

ブタ舎	ブタ	ミニブタ(ポットベリー)	
ヤギ舎	ヤギ(雑種)		
ポニー・ロバ舎	ウマ	ポニー	
ウサギ・モルモット舎	カイウサギ(雑種)	モルモット	
ニワトリ舎	ニワトリ	名古屋コーチン, ウコッケイ	
ハムスター舎	ハムスター	ゴールデンハムスター, ジャンガリアンハムスター, ロボロフスキーハムスター	

ぎょぎょランド展示生物



コイ



ゲンゴロウブナ



ニホンウナギ



ウグイ



ソウギョ



ナマズ



オイカワ



タモロコ



ナイルティラピア



ニホンスッポン



ギンブナ



カマツカ



ニホンイシガメ



クサガメ



タイリクバラタナゴ



アユ



アブラハヤ



ボウズハゼ



カワアナゴ



ウツセミカジカ



アマゴ



ニジマス



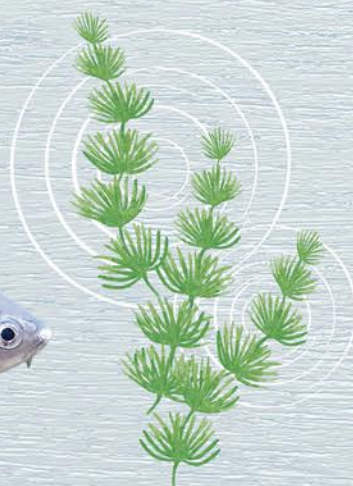
カワバタモロコ



ポストフィッシュ



ヤリタナゴ(オス)



ドーキンシア・フィラメントーサ



ブラックコロソマ



ネコギギ

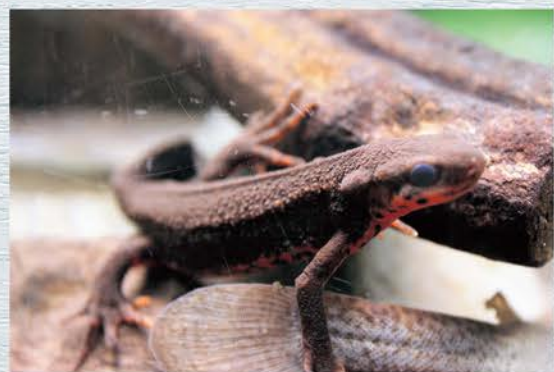


ホトケドジョウ





ヒガシニホントカゲ



アカハライモリ



タガメ



キベリマメゲンゴロウ



ナゴヤダルマガエル



トノサマガエル



コオイムシ



ハイイロゲンゴロウ



モリアオガエル



アカザ



ヒメガムシ



ヒメゲンゴロウ



ヒメタイコウチ



モクズガニ



ベンケイガニ

アニアニまある飼育生物



ヤギ



ポニー



モルモット



ハムスター

資料編

V

- 組織・統計
- 寄贈物一覧
- 市民によるボランティア活動

資料編

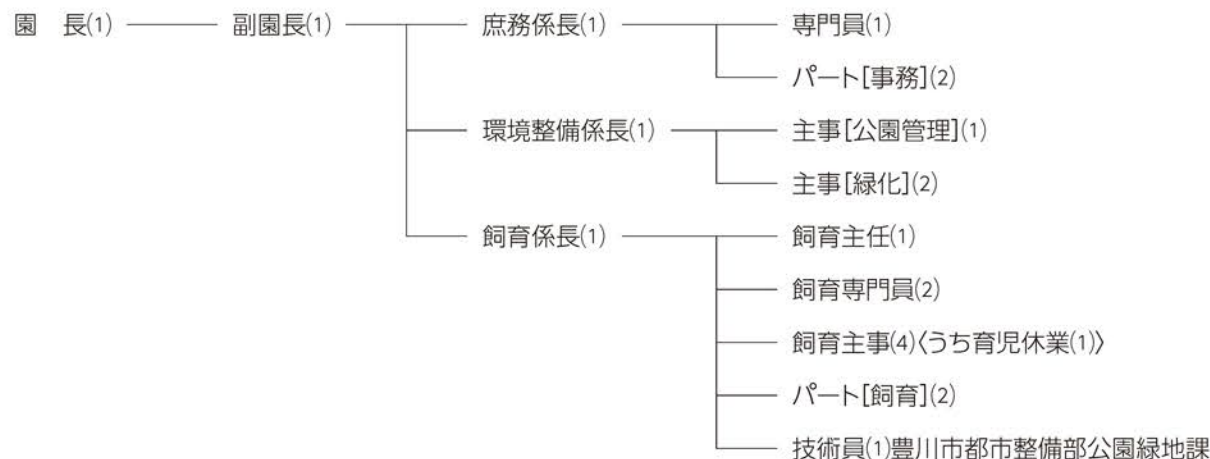
■ 組織

令和5年度(4月1日付)

設置者 豊川市

指定管理者 豊川市施設管理協会

赤塚山公園



施設管理協会事務局

事務局長(兼)
(園長・総務課長兼務)

事務局総務係長(1)
(赤塚山公園庶務係兼務)

主事(1)
(赤塚山公園庶務係兼務)
パート[事務](1)

職員の構成 24人 [協会職員 23人、豊川市職員 1人]

◎ 赤塚山公園歴代施設長

管理室長

白井 勝 平成5年7月～平成8年3月
清川 民啓 平成8年4月～平成11年3月
笠原 正人 平成11年4月～平成12年3月
渡辺 忠義 平成12年4月～平成14年3月

園長

渡辺 忠義 平成14年4月～平成14年9月
森 東明 平成14年10月～平成15年3月
山口 孝之 平成15年4月～平成17年3月
松田 正一 平成17年4月～平成21年3月
武田 寅二 平成21年4月～平成23年3月
清川 民啓 平成23年4月～平成28年3月
平澤 秀彰 平成28年4月～令和3年3月
柴谷 好輝 令和3年4月～現在

◎ ぎょぎょランド名誉館長

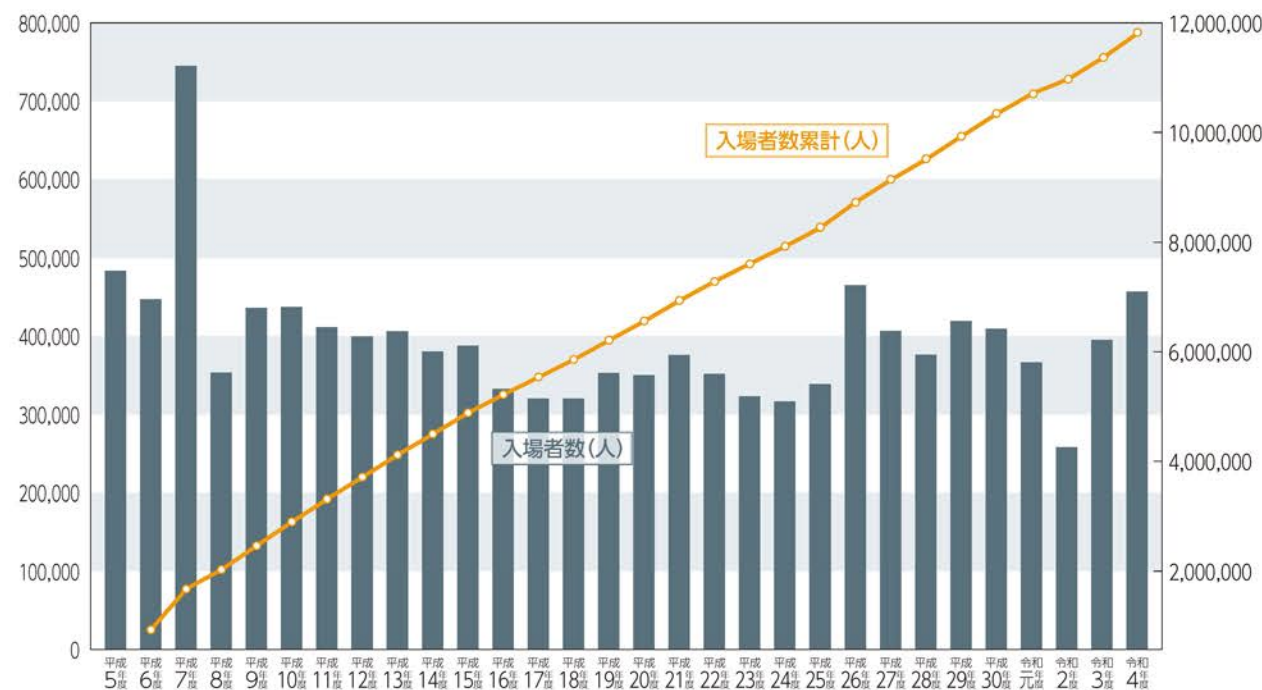
安原 健允 (日本大学名誉教授)

平成5年7月12日～平成27年3月31日

■ 統計

◎ 赤塚山公園「ぎょぎょランド」入館者数の年度別推移

年度	当該年度入場者数	入場者数累計	特記事項
平成5年度	483,368人		7月24日 「ぎょぎょランド」オープン ぎょぎょランド、市民のスクエア、水の広場、花見広場 (4.3%)
平成6年度	447,120人	930,488人	4月1日 「歴史の道」オープン (1.3%)
平成7年度	744,938人	1,675,426人	5月4日 100万人達成、7月21日 「アニアニまある」オープン (1.3%)
平成8年度	353,405人	2,028,831人	3月9日 200万人達成
平成9年度	436,222人	2,465,053人	4月1日 花しょうぶ園、梅園オープン (1.8%)
平成10年度	437,194人	2,902,247人	4月1日 赤塚山散策路オープン (1.9%)
平成11年度	411,508人	3,313,755人	6月6日 300万人達成
平成12年度	399,653人	3,713,408人	
平成13年度	406,174人	4,119,582人	4月1日 弘法山エリア (一部東側) オープン (3.7%) 11月9日 400万人達成
平成14年度	380,396人	4,499,978人	4月1日 弘法山エリア (一部西側) オープン (2.5%)
平成15年度	387,774人	4,887,752人	7月5日 宮池エリア「昆虫の森」オープン (3.4%) (平成13年から平成15年6月までの2年3ヶ月で整備)
平成16年度	332,475人	5,220,227人	7月16日 500万人達成
平成17年度	320,074人	5,540,301人	
平成18年度	320,457人	5,860,758人	機関紙「あかつかやま」創刊。指定管理者制度 (豊川市施設管理協会)
平成19年度	353,169人	6,213,927人	8月8日 600万人達成
平成20年度	350,159人	6,564,086人	
平成21年度	375,932人	6,940,018人	
平成22年度	351,716人	7,291,734人	5月22日 700万人達成
平成23年度	322,942人	7,614,676人	
平成24年度	316,703人	7,931,379人	
平成25年度	338,853人	8,270,232人	
平成26年度	465,037人	8,735,269人	6月9日 800万人達成。7月21日 開園20周年記念。赤塚山公園夏祭り開催
平成27年度	406,581人	9,141,850人	4月19日 「アニアニまある」リニューアルオープン
平成28年度	376,307人	9,518,157人	10月18日 900万人達成
平成29年度	419,278人	9,937,435人	
平成30年度	409,558人	10,346,993人	5月20日 1,000万人達成セレモニー
令和元年度	366,689人	10,713,682人	
令和2年度	258,143人	10,971,825人	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館。アニアニまある(令和2年3月3日～5月24日)、ぎょぎょランド(令和2年3月3日～5月31日)
令和3年度	395,124人	11,366,949人	5月4日 1,100万人達成
令和4年度	456,881人	11,823,830人	



■ 寄贈物一覧

	寄贈者名(敬称略)	寄贈物
平成5年(1993)		
4月	安原 健允	魚類学(岩波書店)など 38冊、魚類学雑誌1巻から40巻 104冊、光学顕微鏡 1台 双眼実体顕微鏡 1台、水質調査器具(検定付き採水器、水温計、水色計など)一式 プランクトンネット、標本容器(スクリュー管他) 約200点、小型水槽(架台付) 20槽 蝶の標本96種 855点、動物分類一覧ポスター薬品一式 実験ガラス器具(ビーカー、シャーレ、フラスコ等) 約200点
4月	箱根園水族館 石原龍雄	ハコネサンショウウオ 5匹(繁殖個体)
5月26日	栃久保 操	チタンアート 1点
6月22日	豊川信用金庫	陶壁画一式
7月3日	室伏 誠	アフリカ産熱帯魚14種 460匹
7月6日	水産庁養殖研究所	チョウザメ(ベステル) 20匹
7月7日	豊川ライオンズクラブ	ソーラー時計 1基
7月15日	水産庁養殖研究所	チョウザメ(ベステル) 20匹
7月24日	豊川水族館	展示用水槽一式、ネオンテトラ 200匹
9月	JR東海豊橋駅	ポスター「日本の淡水魚」1枚
平成6年(1994)		
2月4日	豊川水族館	飼育用水槽36個、ピラルク始め4種 402匹
12月1日	豊川ライオンズクラブ、豊川中ライオンズクラブ	梅の苗木18種 75本
平成7年(1995)		
1月13日	斉藤 貴律	ウスズミザクラ 2本
6月22日	豊橋総合動植物公園	ヤギ 2頭、ウサギ 5頭、モルモット 5頭
7月17日	豊橋総合動植物公園	ヤギ 2頭
8月18日	豊川中ライオンズクラブ	アヒル 10羽、アヒル小屋 1棟
9月5日	静岡市立日本平動物園	ヤギ 2頭、モルモット 10頭、キンイロキンケイ 1羽、ギンケイ 1羽
平成8年(1996)		
2月16日	豊川ライオンズクラブ、豊川中ライオンズクラブ	梅の苗木21種 71本
6月19日	浜松市動物園	ヒツジ 2頭
6月28日	滋賀県畜産技術振興センター	ヒツジ 1頭、パンジー・ビオラ 3,000株
11月17日	豊川ライオンズクラブ、豊川中ライオンズクラブ	梅の苗木23種 74本
平成9年(1997)		
9月9日	浜松市動物園	キンイロキンケイ 1羽
9月29日	豊橋総合動植物公園	ヤギ 1頭
10月1日	トピー工業株式会社豊川製造所	パンジー(ビオラ) 3,000株
平成10年(1998)		
2月24日	中部電力株式会社 豊川営業所	サツキ、ツツジ 150本
3月8日	米山 昌利	羊毛用紡ぎ車 1台
9月24日	鶴殿 常夫	アヒル 17羽
平成11年(1999)		
1月22日	荒木 益夫	翁チャボ 6羽、小シャモ 3羽
4月1日	豊川ライオンズクラブ、豊川中ライオンズクラブ	樹名板 125枚
6月10日	鶴殿 常夫	アヒル 15羽
9月25日	小林 美代子	油絵「Vサイン」(F60号) 1点
平成12年(2000)		
2月9日	愛媛県立とべ動物園	フェレット 3頭
平成13年(2001)		
2月21日	熊谷 尚久	ヒトツバタゴ 1本
平成14年(2002)		
4月16日	静岡市立日本平動物園	ヤギ 2頭
4月22日	戸丸 安治	サツキ等 285株

	寄贈者名(敬称略)	寄贈物
10月31日	静岡市立日本平動物園	ヤギ 3頭
11月26日	静岡市立日本平動物園	ヤギ 1頭
12月18日	医療法人 環成会 皆藤クリニック	車椅子 5台
平成15年(2003)		
2月28日	豊川ロータリークラブ 豊川市婦人会連絡協議会OB会	モミジバフウ 5本、ベニカエデ 5本、サトウカエデ 3本、ウスズミザクラ 3本 シダレザクラ 3本、ベニコブシ 8本、ウメ 10本、シバザクラ 20株
4月17日	豊川信用金庫 ジェイビーホーム株式会社	昆虫サイン(カブト虫案内板) 1基 木製ベンチ 10脚、木製テーブル 2台
9月30日	静岡市立日本平動物園	ヤギ 1頭
平成16年(2004)		
2月18日	豊川ライオンズクラブ、豊川中ライオンズクラブ 寺部 通夫	梅園の名札 120本 カワツザクラ 1本
3月9日	豊川市婦人会連絡協議会OB会 豊川市青年団協議会	シダレザクラ 4本 シダレヤナギ 6本、イロハモミジ 6本
3月31日	株式会社 UFJ銀行	センリョウ 80本
5月11日	ジェイビーホーム株式会社	木製ベンチ 10脚、木製テーブル 2台
6月30日	中根 強司	蝶の標本 4ケース
平成17年(2005)		
1月20日	豊川ライオンズクラブ、豊川中ライオンズクラブ	梅園の名札 74本
3月14日	豊川市婦人会連絡協議会OB会	シダレザクラ 5本
平成18年(2006)		
3月20日	豊川市婦人会連絡協議会OB会	シダレザクラ 5本
4月10日	六八会	カワツザクラ 15本
4月	安原 健允	魚類学雑誌40巻から51巻 17冊、魚類学雑誌(英語版)43巻から51巻 27冊、図書整理箱
平成19年(2007)		
3月3日	賛 進	カワツザクラ 3本
3月28日	榎田 秀生	カワツザクラ 2本
5月7日	ジェイビーホーム株式会社	木製ベンチ 7脚
6月29日	パシフィックゴルフセンター	コイ 40匹
平成20年(2008)		
2月8日	静岡市立日本平動物園	ヤギ 1頭
3月24日	豊川市農業委員会 19期一同	カワツザクラ 1本
10月29日	愛知こどもの国	ウサギ 2頭
10月	安原 健允	駿河湾産貝類標本 68種
平成21年(2009)		
1月11日	安原 健允	赤塚山公園の記録写真(1992から1996)
2月4日	寺部 隆昌	カワツザクラ 2本
2月16日	愛知こどもの国	ヤギ 2頭
3月18日	山本 秋平	カワツザクラ 10本(梅園)、ヤマザクラ 8本
5月1日	豊川市中央図書館	絵本など 40冊
6月24日	小林 健二	トゲカイエビ 25匹
6月22日	安原 健允	アジアカブトエビ 4匹
11月20日	岡崎市東公園	モルモット 3頭
11月30日	豊橋市中野小学校	ハウネンエビなどの資料
12月5日	伊澤 政幸	ナマズ 5匹、タウナギ 6匹、ドジョウ 14匹
平成22年(2010)		
1月14日	原田 進一	カイウサギ 1頭
1月21日	豊川ライオンズクラブ、豊川中ライオンズクラブ	梅園の石碑 1基、樹名板 62枚
11月5日	井上 武	木の彫刻 5点

寄贈者名(敬称略)	寄贈物
平成23年(2011)	
4月11日 中西 弘幸	ギョイコウザクラ2本、カンザンザクラ 1本
4月18日 豊川サッカー協会	ジュニア用サッカーゴール 2基
平成24年(2012)	
3月7日 安原 健允	解剖用顕微鏡 1台
4月7日 安原 健允	カブトエビの飼育と観察 1冊
7月9日 静岡市立日本平動物園	ヤギ 2頭、モルモット 4頭
安原 健允	ブラジル産の魚の化石 2個
10月8日 安原 健允	書籍(干潟の絶滅危惧動物図鑑) 1冊
平成25年(2013)	
2月8日 マーク・グライガー	書籍(琵琶湖をさぐる) 1冊、文献(カイエビなど) 2部
3月3日 巨木桜を愛でる会	タイリョウサクラ 8本、マイヒメサクラ 5本、イチヨウサクラ 3本
4月1日 牧野(豊川市)	ヤマモミジ 1本
7月9日 小林(豊橋市)	アメリカカブトエビ 30匹
7月20日 安原 健允	環境教育指導資料 1冊
7月21日 木材製品工業部会	炭の置物 1点
8月24日 近藤(新城市)	モクズガニ 1匹
9月20日 安原 健允	科学論文のまとめ方と書き方
9月21日 可児(豊川市)	ニホンアマガエル(色素変異個体・青) 1匹
11月23日 安原 健允	魚類薬理学 I サルファ剤 1冊
平成26年(2014)	
1月18日 安原 健允	川魚図志
2月18日 エコ☆はじめの一步	サルスペリ 1本
4月7日 豊川市農業委員会	カワツザクラ 1本
7月3日 静岡市立日本平動物園	ヤギ1頭、モルモット 5頭
9月22日 AS・ランジャ豊川 宮澤 淳	少年サッカー用カラーコーン 20本
平成27年(2015)	
12月17日 豊川商工会議所女性会	児童向け書籍 267冊
平成28年(2016)	
7月1日 鳳来寺山自然科学博物館	新城市の自然史、植物・キノコ編 1冊
7月31日 命にやさしいまちづくり	ハーツ絵本(78円の命) 1冊
平成30年(2018)	
3月8日 静岡市立日本平動物園	ヤギ 1頭
令和元年(2019)	
10月8日 豊川サッカー協会	サンドバッグ 12個
令和3年(2021)	
1月25日 豊川サッカー協会	サンドバッグ 4個
3月8日 豊川商工会議所女性会	図書カード
令和4年(2022)	
12月7日 豊川サッカー協会	ゴールネット
令和5年(2023)	
4月1日 豊川中ライオンズクラブ、豊川ライオンズクラブ	ジウガツザクラ 1本、樹名板 1基、園名板 1基
豊川ライオンズクラブ	園名板 1基

■ 市民によるボランティア活動

昆虫の会

昆虫の会は、平成14年から赤塚山公園内の「宮池エリア」を中心に昆虫の魅力を伝える活動を行っています。夏には、「カブトムシ大相撲大会」秋には、木の実などで工作をする「森の工作」などを行っています。昆虫などの自然とかかわるイベントを開催しています。「昆虫の会」は、令和5年3月をもって、解散しました。赤塚山公園の自然環境の保護のためにご尽力していただいたことに感謝申し上げます。



赤塚山公園梅園剪定ボランティアの会

赤塚山公園の梅園では、豊川ライオンズクラブ様、豊川中ライオンズクラブ様、豊川市婦人会連絡協議会OB会様から寄贈された25品種273本の梅の木を植栽しています。ボランティアの皆さんによって、毎年12月から1月の初め頃にかけて梅の整枝剪定作業が行われています。平成16年までは赤塚山公園職員のみで行っていましたが、平成17年からボランティアとして作業に参加していただいています。



Angel Cats(エンジェルキャッツ)

赤塚山公園にいる飼い主のいないネコの保護活動として公園ネコへのエサやり、保護活動、里親探しなどを行っています。また、公園ネコへのエサ代、去勢避妊費用、管理費用のためのフリーマーケットや募金活動をしています。10数年前までは10匹以上いたネコも現在では、数匹までに少なくなりました。令和3年からエンジェルキャッツさんに活動をしていただいています。



塗魂ペインターズ

弘法山(片瀬山)の山頂にある展望楼を塗装していただきました。令和5年3月20日から3月25日にかけて、塗装業者の皆さんと多くの市民の方と一緒に楽しみながら塗装しました。



PG・ジャパン

市民のスクエアのステージ裏の壁面をクジラやキリンなどの動物をカラフルに彩りました。3月4日に多くの市民の方と一緒に楽しみながら塗装しました。また、わくわくパークにあるカブトムシやクワガタの遊具も塗りなおしていただきました。



編集後記

平成21年に当園の歴史と概要を整理するために「豊川市赤塚山公園園報 第1号 15年のあゆみ」を発行しました。あれから15年が経過し、その間に「豊川市赤塚山公園 園報第6号」まで発行し、記録をまとめてきました。そして、開園30周年を迎えた令和5年に「赤塚山公園 開園30周年記念誌」として、30年の歴史を記録として残すこととしました。

平成18年に創刊した機関誌「あかつかやま」も昨年100号を迎えることができ、機関誌「あかつかやま」と園報第6号までの記録をもとにこの記念誌を作成しました。

本誌でも記載しましたが、今年令和5年4月に当園は、リニューアルオープンし、オープン後の週末は、駐車場が満車になるほどの人気ぶりとなりました。そして、令和5年9月2日には開園30周年記念イベントを計画しています。そこで、新たな試みとして、乗馬体験の「ポニーに乗ってみよう」を開始します。

これからも、より良い公園、水族館、動物園を目指して、管理、運営に一層の努力を続けてまいります。今後とも、皆様のあたたかいご支援とご協力をお願いいたします。